

2022年度 事業報告書

特定非営利活動法人フレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダーJAPAN

1 事業の成果

ラオ・フレンズ小児病院（LFHC）では、パンデミックによる影響は受けたものの、治療を必要とする患者さんへのケアの提供、スタッフ教育を継続して実施することが出来た。将来的な現地化に向けてラオス人のリーダー育成の成果が実り、2月には看護部長にラオス人を任命、2022年末には、LFHCのほとんどの部署にラオス人マネージャーが就任することとなった。ラオス人のリーダーシップを促進することを目標に、国内外の経験豊富なマネジメントトレーナーによるマネジメントトレーニングや、厳選されたラオス人リーダーについては、ECCILが主催する国際研修（Australian Award for HR Managers）や国内研修（VUCA world）に参加した。

■医療

コロナのパンデミックにより外来患者数は1日20～30人にまで減少がみられたが、4月以降、徐々に再度増加し始め、8月（3,485人）と9月（3,440人）においては、開院以来で最も患者数が多い月となった。入院患者数に関しては、6月から9月までの4か月間は非常に多く、廊下などのスペースを利用し通常24床に対して倍の患者さんを受け入れる状況もあった。

救急病棟で診療をしていた重症の患者さんのケアを主に行う重症病棟（HAU）を7月に4床～5床で開設。重症の患者さんのモニタリングが改善されたことで、危険な兆候をより早い段階で見つけ、さらなる悪化を避けるための措置が取れるようになった。

新生児病棟では、カンガルーケアを促進するため、看護師が「カンガルーTシャツ」をデザイン・制作。病棟で使用されており、カンガルーケアの普及に貢献している。

入院病棟と外来病棟に隣接する“授乳室”を開設。入院病棟や外来待合室のお母さんたちのプライバシーを守り、安心して授乳できる場所として、また、個別の授乳サポートの他、お母さん（とお父さん）への母乳育児と初期栄養に関する教育セッションの場所として使用されている。

アウトリーチはHIVや栄養失調、脳性麻痺をはじめ、緩和ケアを必要とする子供たちやその家族への支援も行い、年間の走行距離は4万キロを超え、訪問数は479件となった。

■教育

継続的な成長や世界的なトレンドに合わせた学際的なトレーニングを行っていく必要性から、新たに「教育部」を設立した。LFHC院内外のトレーニングを担当するほか、国内外でのトレーニングやカンファレンスにLFHCスタッフが参加する際のサポートを行うと共にLFHCの研究や質向上プロジェクトに関心のあるスタッフへの支援も行う。新人医師のための基礎コース（小児科の主要分野をカバーする1年間のカリキュラム）、看護師向けとしては、看護師教育プログラムですでに設定されていたコア・カリキュラムを継続して行った。学際的

なチームトレーニングの必要性から、医師と看護師の合同トレーニング（ETAT と NRP トレーニング）、医療スタッフとそれ以外のスタッフの合同トレーニング（リーダーシップとマネジメントワークショップ）を実施。一度ダウンロードすれば、Wi-Fi がない場所でも使用することができるウェブベースの学習プラットフォームの「Moodle」を導入。

個人的なスキルや専門的なスキル向上、病院全体のケアの質向上に貢献するために、国際的なカンファレンスや研修にスタッフを派遣。検査科のリーダーが隣国のタイで、感染予防・管理（IPC）チームのスタッフ 4 名が、カンボジアのシェムリアップにあるアンコール小児病院（AHC）で、また、手術室の看護マネージャー及び栄養士はオンラインでの研修に参加した。生涯学習の重要性が認識されるようになったことで、英語を学習言語として使いたいと考えるスタッフが出てきたため、海外の主要大学が提供する MOOCs（大規模公開オンライン講座）を受講するようになった。

メルボルンを拠点とする取り組みである第 3 回グローバルラーニングフェスティバルに参加し 3 人のスタッフが選ばれ、英語で発表を行った。

オンラインではなく実際に渡航したケースとして、バイオメンテナンスエンジニアはコース終了後、韓国の大学でより高度なコースを受講し、人事部長は、ASEAN の人事リーダーのための初のオーストラリア短期コースに応募し、無事修了した。

ラオス人のリーダーシップへの取り組みが国際的に評価され、看護部長は英国のプログラムである「Women of the Future」で、ESG（環境・社会・ガバナンス）分野の世界のライジングスターの一人に、入院病棟医療マネージャーは、「Kindness & Leadership 50 Leading Lights in Asia」の一人として表彰された。

■助成事業

カンボジアの「アンコール小児病院（AHC）」助成支援を行った。主に、医療教育活動及び地域医療支援教育活動への助成とし、院内外の医療従事者と医療学生に対する教育、カンボジア農村部での小児医療に関する知識や技術向上を目指す地域コミュニティ活動が実施された。医療教育活動においては、院内スタッフだけではなく、外部医療従事者をはじめ医療学生への教育も実施。専門医養成も行い、医療従事者の知識・技術向上に繋げた。農村部においては、子供たちの健康管理のため、栄養管理や衛生管理、感染予防について教育活動に取り組み、特にパンデミックにより衛生強化の必要性が認識されたことから、学校の教師向けのトレーニングも実施した。

■日本国内

オンラインでのトークイベントや活動報告会を企画。医療以外のテーマや外部専門家の方を招くなど、試行錯誤しながら実施し、団体の認知度を広めることに努めた。また、コロナ禍で中止としていた対面型イベントを再開し、運営資金の確保に繋げた。引き続き学生インターンを受け入れ、広報活動や支援者対応に関わることで、視野を広げてもらう機会となった。その他、寄付キャンペーン、助成金申請等を通して多方面にわたる資金調達に努めた。団体の知名度・認知度を高めるため、年次報告書やリニューアル版パンフレットの発行、SNS 活用の強化を図った。病院への寄贈品は、コロナ禍の影響が続き現地への輸送・運搬が厳しい状況であったが、輸送費に対する支援を受け、現地で必要とされるシリンジ（針無し注射器）を地へ届けることができた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 141,339 】千円)

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額 (千円)
助成事業	アジアの恵まれない子供たちの医療支援を目的とする団体へ助成を行う。	通年	アンコール小児病院	382名	1)カンボジア人医療従者のべ9千名以上 2)不特定多数のカンボジアの子供、教師や地域住民	44,688
医療施設運営・教育・予防事業	「ラオ・フレンズ小児病院(LFHC)」の運営、医療・教育・予防事業を行う。	通年	ラオ・フレンズ小児病院	166名	1)不特定多数のルアンパバーン地区の子供 2)LFHC スタッフ、他医療施設スタッフ及び患者家族	77,220
スタッフ派遣事業	専門家を派遣し、スタッフや住民へ医療・予防教育等を行う。	通年	ラオス、カンボジア	1名	現地スタッフ約170名及び不特定多数の地域住民	535
医療物資等運搬事業	病院のために寄贈された物品や備品等の輸送手配や、運搬を行う。	通年	法人事務所、他	5名	不特定多数の医療従事者と患者	345
普及啓発事業	WEBサイトやリーフレット、年次報告書の活用、イベント等で広報に努める。	通年	法人事務所、他	5名	不特定多数の寄付者及び参加希望者	18,551

2022年度 活動計算書

2022年1月1日から 2022年12月31日まで

特定非営利活動法人 フレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダー JAPAN

(単位:円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1 受取会費		
正会員受取会費	600,000	600,000
2 受取寄付金		
受取寄付金	118,741,274	118,741,274
3 助成金収入		
助成金収入	3,499,810	3,499,810
4 事業収益		
普及活動収入	222,252	
収益事業収入	4,987,903	5,210,155
5 その他収益		
受取 利息	679	
雑 収 入	11,340	12,019
経常収益 計		128,063,258
II 経常費用		
1 事業費		
(人件費)		
給料 手当	5,604,176	
法定福利費	1,712,080	
人件費計	7,316,256	
(その他経費)		
支払寄付金		
助成事業	44,579,013	
医療施設運営・教育・予防事業	77,220,336	
賃 借 料	1,757,010	
水道光熱費	146,074	
通信運搬費	504,408	
広告宣伝費	1,437,907	
旅費交通費	752,883	
消耗品 費	267,328	
支払報酬	1,325,000	
研 修 費	16,500	
福利厚生費	124,693	
保 険 料	179,560	
支払手数料	76,099	
雑 費	24,385	
リース料	75,240	
交 際 費	6,500	
イベント経費	4,908,152	
為替差損	429,047	
【売上原価】		
期首棚卸高	636,825	
期首商品・製品棚卸高 計	636,825	
仕 入 高	△ 218,060	
当期仕入高 計	△ 218,060	
期末棚卸高	△ 225,585	
期末商品・製品棚卸高 計	△ 225,585	
売上原価 計	193,180	
その他経費計	134,023,315	
事業費 計		141,339,571

2	管理費			
	(人件費)			
	給料 手当	1,769,741		
	法定福利費	540,655		
	人件費計	2,310,396		
	(その他経費)			
	賃借料	582,849		
	水道光熱費	81,792		
	通信運搬費	150,212		
	旅費交通費	42,121		
	印刷費	70		
	消耗品費	293,511		
	支払手数料	2,275,514		
	支払報酬	110,000		
	福利厚生費	143,753		
	保険料	9,177		
	会議費	5,176		
	雑費	582,660		
	修繕費	663,641		
	リース料	23,760		
	交際費	10,000		
	租税公費	800		
	その他経費計	4,975,036		
	管理費計		7,285,432	
	経常費用計			148,625,003
	当期経常増減額			-20,561,745
III	経常外収益			
	経常外収益計			0
IV	経常外費用			800,000
	経常外費用計			800,000
	税引前当期正味財産増減額			-21,361,745
	法人税、住民税及び事業税			70,000
	当期正味財産増減額			-21,431,745
	前期繰越正味財産額			43,622,655
	次期繰越正味財産額			22,190,910

2022年度 貸借対照表

2022年1月1日から 2022年12月31日まで

特定非営利活動法人 フレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダー JAPAN

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
(現金・預金)		
普通 預金	20,357,598	
現金・預金 計	20,357,598	
(棚卸資産)		
棚卸 資産	225,585	
棚卸資産 計	225,585	
(その他の流動資産)		
未収金	1,783,200	
その他流動資産 計	1,783,200	
流動資産合計		22,366,383
2 固定資産		
(投資その他の資産)		
敷 金	986,040	
長期前払費用	22,293	
投資その他の資産 計	1,008,333	
固定資産合計		1,008,333
資産の部 合計		23,374,716
II 負債の部		
1 流動負債		
未払い費用	1,183,806	
流動負債 計	1,183,806	1,183,806
負債の部 合計		1,183,806
III 正味財産の部		
1 正味財産		
前期繰越正味財産額	43,622,655	
当期正味財産増減額	-21,431,745	
正味財産 計		22,190,910
正味財産の部 合計		22,190,910
負債・正味財産合計		23,374,716

2022年度 計算書類の注記

2022年1月1日から 2022年12月31日まで

特定非営利活動法人 フレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダー JAPAN

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準によっています。

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
個別法による原価法
- (2) 固定資産の減価償却の方法
該当なし
- (3) 引当金の計上基準
該当なし
- (4) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理
該当なし
- (6) 消費税等の会計処理
税込処理

2. 事業別損益の状況

(単位：円)

科目	助成事業	医療施設運営・ 教育・予防事業	スタッフ 派遣事業	医療物資等 運搬事業	普及啓発事業	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益								
1. 受取会費					300,000	300,000	300,000	600,000
2. 受取寄附金	44,688,168	69,818,181	535,453	36,838	2,000,000	117,078,640	1,662,634	118,741,274
3. 受取助成金等		2,192,000		307,810	1,000,000	3,499,810	0	3,499,810
4. 事業収益		5,210,155				5,210,155	0	5,210,155
5. その他収益					12,019	12,019	0	12,019
経常収益計	44,688,168	77,220,336	535,453	344,648	3,312,019	126,100,624	1,962,634	128,063,258
II 経常費用								
1. 事業費								
(1) 人件費								
給料 手当					5,604,176	5,604,176	0	5,604,176
法定福利費					1,712,080	1,712,080	0	1,712,080
人件費計	0	0	0	0	7,316,256	7,316,256	0	7,316,256
(2) その他経費								
支払寄付金	44,579,013	77,220,336			0	121,799,349	0	121,799,349
賃借料					1,757,010	1,757,010	0	1,757,010
水道光熱費					146,074	146,074	0	146,074
通信運搬費				344,648	159,760	504,408	0	504,408
広告宣伝費	28,558				1,409,349	1,437,907	0	1,437,907
旅費交通費	80,597		358,103	0	314,183	752,883	0	752,883
消耗品費					267,328	267,328	0	267,328
支払報酬					1,325,000	1,325,000	0	1,325,000
研修費					16,500	16,500	0	16,500
福利厚生費					124,693	124,693	0	124,693
保険料			177,350		2,210	179,560	0	179,560
支払手数料					76,099	76,099	0	76,099
雑費					24,385	24,385	0	24,385
リース料					75,240	75,240	0	75,240
交際費					6,500	6,500	0	6,500
イベント経費					4,908,152	4,908,152	0	4,908,152
為替差損					429,047	429,047	0	429,047
売上原価					193,180	193,180	0	193,180
その他経費計	44,688,168	77,220,336	535,453	344,648	11,234,710	134,023,315	0	134,023,315
事業費計	44,688,168	77,220,336	535,453	344,648	18,550,966	141,339,571	0	141,339,571
2. 管理費								
(1) 人件費								
給料手当						0	1,769,741	1,769,741
法定福利費						0	540,655	540,655
人件費計	0	0	0	0	0	0	2,310,396	2,310,396
(2) その他経費								
賃借料						0	582,849	582,849
水道光熱費						0	81,792	81,792
通信運搬費						0	150,212	150,212
旅費交通費						0	42,121	42,121
印刷費						0	70	70
消耗品費						0	293,511	293,511

支払手数料							0	2,275,514	2,275,514
支払報酬							0	110,000	110,000
福利厚生費							0	143,753	143,753
保険料							0	9,177	9,177
会議費							0	5,176	5,176
雑費							0	582,660	582,660
修繕費							0	663,641	663,641
リース料							0	23,760	23,760
交際費								10,000	10,000
租税公費							0	800	800
その他経費計	0	0	0	0	0	0	0	4,975,036	4,975,036
管理費計	0	0	0	0	0	0	0	7,285,432	7,285,432
経常費用計	44,688,168	77,220,336	535,453	344,648	18,550,966	141,339,571		7,285,432	148,625,003
経常費用計									800,000
当期経常増減額	0	0	0	0	-15,238,947	-15,238,947		-5,322,798	-21,361,745

3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳
該当なし

4. 使途等が制約された寄附金等の内訳

使途等が制約された寄附金等の内訳（正味財産の増減及び残高の状況）は以下の通りです。

当法人の正味財産は 22,190,910 円ですが、そのうち 0 円は、下記のように使途が特定されています。

したがって使途が制約されていない正味財産は 22,190,910 円です。

(単位：円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
助成事業	0	44,688,168	44,688,168	0	
医療施設運営・教育・予防事業	0	77,220,336	77,220,336	0	
合計	0	121,908,504	121,908,504	0	

5. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
投資その他の資産						
敷金	810,185	986,040	810,185	986,040	0	810,185
合計	810,185	986,040	810,185	986,040	0	810,185

6. 借入金の増減内訳

該当なし

7. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位：円)

科目	計算書類に計上された金額	内役員及び近親者との取引
(活動計算書)		
受取会費	600,000	24,000
受取寄付金	118,741,274	1,745,020
事業収益	5,210,155	229,540
活動計算書計	124,551,429	1,998,560
(貸借対照表)		
貸借対照表計	0	0

8. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状況並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

- ・ 事業費と管理費の按分方法
各項目に対し適正なる按分比率をもって、算出しております。
- ・ その他の事業に係る資産の状況
特にありません。

2022年度 財産目録

2022年1月1日から 2022年12月31日まで

特定非営利活動法人 フレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダー JAPAN

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
(現金・預金)		
普通預金	20,357,598	
現金・預金 計	20,357,598	
(棚卸資産)		
棚卸資産	225,585	
棚卸資産 計	225,585	
(その他流動資産)		
未収金	1,783,200	
その他流動資産 計	1,783,200	
流動資産合計		22,366,383
2 固定資産		
(投資その他の資産)		
敷金	986,040	
長期前払費用	22,293	
投資その他の資産 計	1,008,333	
固定資産合計		1,008,333
資産の部 合計		23,374,716
II 負債の部		
1 流動負債		
未払い費用	1,183,806	
流動負債 計	1,183,806	1,183,806
負債の部 合計		1,183,806
正味財産合計		22,190,910

令和4年度年間役員名簿

(前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿)

特定非営利活動法人 フレンズ・ウィズアウト・ア・
ボーダー JAPAN

1 確認事項 (法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。)

- 以下の役員には、欠格事由者が含まれません。(法第20条関係)
各役員について、親族の規定に違反していません。(法第21条関係)

2 役員一覧

	役名	(フリガナ)	前事業年度内の 就任期間	報酬を受けた 期間
		氏名		
1	理事	マツシマアキオ	令和4年1月 1日 ～ 令和4年12月 31日	無
		松島 彰雄		
2	理事	イツケンロウ	令和4年1月 1日 ～ 令和4年12月 31日	無
		井津 建郎		
3	理事	タケチシュンカイ	令和4年1月 1日 ～ 令和4年12月 31日	無
		竹地 春海		
4	理事	アカオカズミ	令和4年1月 1日 ～ 令和4年12月 31日	無
		赤尾 和美		
5	理事	タカハシダイスケ	令和4年1月 1日 ～ 令和4年12月 31日	無
		高橋 大輔		
6	理事	ホリナルミ	令和4年1月 1日 ～ 令和4年12月 31日	無
		堀 成美		
7	理事	タイハルミ	令和4年1月 1日 ～ 令和4年12月 31日	無
		戴 波留美		
8	理事	ナカショウジフトシ	令和4年1月 1日 ～ 令和4年12月 31日	無
		中小路 太志		
9	理事	ワタナベアツコ	令和4年1月 1日 ～ 令和4年12月 31日	無
		渡邊 淳子		
10	監事	クマイマサヒロ	令和4年1月 1日 ～ 令和4年12月 31日	無
		熊井 昌広		

社員名簿（社員のうち10人以上の者の名簿）

令和4年12月31日現在

特定非営利活動法人 フレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダーJAPAN

	氏名	
1	和泉 直子	[Redacted]
2	一乗 朋美	
3	小川 直美	
4	兼子 思	
5	小澤 誠	
6	小山 達雄	
7	則包 哲	
8	橋本 朋子	
9	平岩 町子	
10	熊井 貴美	